

鈴木様

ナマステ。

ご心配いただき、メールをありがとうございます。奨学生たちも私も元気に過ごしております。鈴木様やご家族の皆様もお元気でいらっしゃるかと存じます。

昨日、チベットを源流とし、ネパール・チベット国境沿いのケロン（Kerung）地域を通過する壊滅的な洪水が発生しました。主にラスワ（Rasuwa）、ヌワコット（Nuwakot）、ダディン（Dhading）の各地域が被害を受けています。

特にラスワ地域の状況は深刻です。ボテ・コシ川（Bhote Koshi River）の急激かつ猛烈な増水により、ラスワガディ（Rasuwagadhi）からティムレ（Timure）にかけての地域が激流に飲み込まれました。

- ラスワガディの国境・税関エリア、ティムレの市場、および周辺の集落が甚大な被害を受けました。道路、橋、車両、家屋、その他のインフラが流出、あるいは深刻な損傷を負いました。
- ボテ・コシ川およびトリシュリ川（Trishuli）流域の複数の水力発電プロジェクトや電力インフラも被害を受けています。
- 事態は現在も進行中であり、救助隊が被災地に到着するにつれて死傷者数も変動しています。最新の報告では、死者約 165 名、行方不明者 800 名以上とされていますが、これらの数字は現在も確認作業中です。
- ラスワガディはネパールとチベット（中国）を結ぶ重要なルートであるため、多くの観光客や外国人も行方不明になっていると報告されています。
- 救助活動が続けられています。ネパール軍、ネパール警察、その他の機関がヘリコプターなどの機材を投入し、行方不明者の捜索や生存者の救助・避難活動を行っています。

洪水の原因（推定）

正確な原因については現在調査中です。現在の報告によると、チベット側で氷や氷河堆積物、岩石が大規模に崩落し、それによって大量の水が急激に河川系へ押し出された可能性があると言われています。当初の報告では、地震や氷河湖決壊の可能性も検討されていました。

ラスワ地域は、2025 年 7 月にもボテ・コシ川の大規模な洪水で甚大な被害を受け（その際、ラスワガディの「友好の橋」が破壊されました）、今回の災害は同地域にさらに広範囲にわたる破壊をもたらしたため、とりわけ痛ましい事態となっています。

私たちはこの災害に深く心を痛めており、救助隊が一人でも多くの行方不明者を発見し、救助できることを願っております。残念ながら、新型コロナウイルスの流行以降、松本ヒマラヤ友好協会ネパール支部の活動が活発に行われている様子は見受けられません。

また、松本市とカトマンズ市との間の交流や連絡体制についても、私は何のつながりも情報も持ち合わせておりません。

よろしくお願い申し上げます。

パサン・ダワ・シェルパ